

今、この人に **いんたびゅう** Interview

滋賀県国際協会災害時外国人サポーター
スラメット スプリヤントさん

地域ボランティアもコミュニケーションあってのつながりです。
「救急車より救急車」で24時間フル回転しています。



▲この日ジャワ更紗(バティック)を着てインタビューに応じていただいたスラメットさん。ジャワ更紗はインドネシアの伝統的なろうけつ染めの布製品。2009年10月2日にユネスコによって世界無形文化遺産に認定されている。

● プロフィール ●

インドネシアのジャワ島から2001年に20歳で来日。3年間の研修を終えて帰国後再び来日し、18年間滋賀県で仕事をしながら、ボランティア活動に尽力。当協会の災害時外国人サポーターにも登録。さらに湖南市消防団に入団し、自治会活動にも積極的に参加。また、湖南市国際協会主催のインドネシア料理や文化、言葉の講師として講座に多数参加したり、ジャワ舞踏の会にも所属するなど、インドネシアの文化を発信する活動にも熱心に取り組んでいる。

■スラメットさんは2001年に研修生として来日されたわけですが、なぜ日本に決められたのですか？

本当の夢は船の仕事だったんです。3ヶ月英語を勉強して試験を受けましたが落ちました。その頃、日本で仕事をしてた私の兄が日本行きを勧めてくれたんです。日本語の平仮名とカタカナは英語より覚えやすかったですね。それで研修に行くテストに2回目で合格し、日本で技術研修を受けることになりました。4mぐらいのマイ辞書を作りました。例えば同じ意味でも「丁寧な言葉、これは友達と、これは汚い言葉」と3つぐらいの言葉がありますね。書き留めたら直ぐに周囲の日本人に日本語を教えてもらうことで覚えていきました。

■研修生の時から今日までずっと日本でお仕事をされているんですね。

滋賀県の企業で3年間の研修を終えて一旦帰国し、2年後に再び来日し湖南市やその周辺の企業で働いています。リーマンショックの影響もあり、今の仕事場は5つ目の転職先ですが、常に知り合いから声をかけてもらって就職先が見つかっています。それと一番は子どもがいるからです。実は研修の時に知り合った日本人女性との結婚が、再び日本に来日して滋賀県で働くきっかけになりました。今は独りですが、子どもとはよく会っています。子どもが成人したらインドネシアに戻るかも知れませんがね。

■声を掛けてもらって仕事が絶えないとのことですが、それはスラメットさんの人柄からくるものなのでしょうか。

私はコミュニケーション好きなんです。人とコミュニケーションすることが生活の楽しみになっています。あの人だったら話しやすいし電話してみようって人と話すことでストレスもたまりませんね。だから、よく声もかけてもらいます。たま

に、仕事もボランティアもダブルブッキングしてしまうことがありますが、時間をずらしてどちらも行くようにしています。頼まれると断れないんです。

■インドネシアは地域のつながりが強いとのことですが、日本はどうですか。

人とのつながりは個人によるものだと思います。コミュニケーションが不得意だとつながりはできません。それはインドネシアでも同じです。私は初めて会った人でも電話番号やメールアドレスを交換したら友達なんです。そこは日本人とは違いますね。強いて言うなら日本人ははっきりと物事を言わないことですね。あまり話してもらえないと、こっちは嫌われているのかと思ってしまうのですが、全くそんなことはないんです(笑)。

■ところで、災害時外国人サポーターに登録されボランティアを積極的にされていますね。

東日本大震災があった2011年は日本にいましたので状況を良く知っています。湖南市は外国人も多く、もし災害があれば私は現状を知っているので、初めて日本で震災にあった外国人のためにも、できることがあれば少しでも手助けもしたいんです。

■他にも自治会の組長や湖南市の消防団にも入団と、積極的に地域活動をされているのはなぜですか？

私にとっては災害時外国人サポーターと同じ感覚でなんです。どれかに極端に力を入れているわけではなく、どの分野でも人のお役に立てればと思っています。ボランティアをすることで人とのつながりも広がっていますし、頼まれたら断らないだけなんです。インドネシア出身者が急病になったら、119番より先に私に電話がかかってきます。だから、「救急車より救急車」と言われていますね(笑)。それと仕事で嫌なことがあってもボランティアや地域の活動をするこ

とでストレスもなくなってしまいます。早出で4時に帰ってきたら、自治会のことやボランティア活動で一日埋まっていますね。

■他にインドネシアの食や言葉、踊りなど、自国の文化も積極的に広めておられていますね。

母国を誇りに思っています。インドネシアの文化を知ってもらって皆さんにインドネシアに来ていただきたいという思いがあるんですね。毎年イベントでカフェを出店します。インドネシアでの一日の料理メニューを作ります。

■子どもさんが成人するまでは日本で暮らすとのことでしたが、帰国後の夢があるのですか？

インドネシアに田んぼや畑があるので、その土地を活かしたいと思っています。そのために北海道に行って、じゃがいもやとうもろこし、たまねぎ等の作り方を勉強して、そこで得た農業知識を母国で活かしたいですね。もちろん滋賀で勉強できれば最高ですよ!人もいいし、長く暮らしているので落ち着きますからね。